

令和4年6月27日

総務文教委員会資料

教育委員会

目次

【報告事項】

- 1 (仮称)水橋地区義務教育学校整備地の基本合意について …… 1 頁
- 2 国指定重要文化財旧森家住宅耐震診断結果等について …… 2 頁

1 (仮称) 水橋地区義務教育学校整備地の基本合意 について

[学校再編推進課]

(1) 趣旨

(仮称) 水橋地区義務教育学校の整備候補地としていた旧富山県立水橋高等学校跡地について、県との間で整備地とすることを基本合意したものの。

(2) 対象地

所在地：富山市水橋中村24番地ほか

面積：52,983㎡



(3) 基本合意の主な内容

- ・ (仮称) 水橋地区義務教育学校の整備地は旧富山県立水橋高等学校敷地内とする。
- ・ 県は市へ旧水橋高校の土地を有償譲渡する。
- ・ 県は建物等の解体に要した経費を負担する。

(4) 締結日

令和4年6月23日

2 国指定重要文化財旧森家住宅耐震診断結果等 について

[生涯学習課]

(1) 趣旨

旧森家住宅は、明治11(1878)年頃に建てられて以来140年以上が経過している。

平成22年度に実施した「重要文化財所有者診断業務」では、概ね健全という結果が示されたが、現在、柱の傾斜等が生じている状態であり、令和2年度の文化庁との協議を踏まえ、翌3年度に実施した耐震診断業務の結果について報告するもの。

(2) 耐震診断業務の概要及び結果

ア. 業務内容 耐震診断、補強方針(案)の策定

イ. 受託者

- ①耐震診断業務：(株)三四五建築研究所
- ②技術指導業務：(学)富山国際職藝学園
- ③監修業務：(学)金沢工業大学 産学連携局

ウ. 診断結果

地震の頻度	判定	備考
稀に起こる地震	倒壊せず	数十年に一度、震度5弱程度を想定
極めて稀に起こる地震	倒壊の恐れ	数百年に一度、震度6強程度を想定

エ. 補強方針(案)

主に面格子壁(耐力壁)による補強及び地盤改良・基礎補強を行う。

(3) 今年度の対応について

ア. 耐震工事を実施するまでの間、応急的な対策を行う。

- ・土蔵、2階への入室中止
- ・貸室の中止
- ・避難経路の明示
- ・主要な柱周辺に補強板を設置
- ・冬期間の休館の検討

イ. 耐震工事に向けた文化庁との協議